新聞定價一ヶ月80圓　一部賣(3圓)　月曜休刊
磐城日日
昭和29年(1954)2月19日　(金曜日)　第1059号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人　梅野隆

合併問題の風雲急を告ぐ

政府は今月二十日迄に合併した町村に對して合併特別平衡金を交附するなど財政的恩典をもつて町村合併に拍車をかけ各地に町村合併の動きは急激な慌ただしさを傳えているが、小名浜町を中心とする合併問題のキャスチング・ボートを握る泉町議会は十八日午後三時から同町公民館に於て渡邊村議会と合併合同懇談会を開くこととになり、その結果は大きく各界の注目を集めている

成行きに注目集む

泉、渡邊が合同懇談會

小名浜町を中心とする合併問題に關して泉町、渡邊村は從来の関連性から不離一体の地勢的、慣習的狀態にありながら、渡辺村は積極的に小名浜合併を打ち出したのに反し泉町は非常に消極的態度を捨てず、逆つて渡辺村との合併による農林業立町による存續自立を圖らんとするなど全く相反した基本線を暗に示めしてデリケートな政界の運きとなつており、小名浜、渡辺の一部には泉町を間に置いて二町村の合併と云う構想もたてられた模樣であるが、これは常識的に考えられず、それよりも渡邊村自体が泉町との關連性から泉町を考慮に入れずに行動する事は不可能であり、ここに泉町との合併懇談會が開かれるに至つたものである

十八日の泉、渡邊両町村の政界は相互に慌わただしい動きを示めして、渡辺村は午前九時から村議会協議会を開き、懇談會に臨む懇度について協議を重ねたが、これに對し泉町は午前九時から役場内に自治運營懇談会出席委員（三瓶町長、吉田助役、吉田勝記、鈴木孝章両前町長、鈴木町議ら）が參集して打合会を開いて協議を續け、十一時から町議會協議会を開催して更に態度を協議するなど活發を極めて午後の合同懇談会の成行が注目されるに至つた

泉は住民投票か

初の協議会結論なし

午前十一時より行われた泉町議會初の合併問題協議会は全町議出席し、更に学識經驗者として自治運營懇談会の委員に選任されている鈴木孝章、松井清水両元村長、志賀蓮農協組合長らがオブザーバとして出席

先づ江尻議長開会を宣し十三日小名濱町役場会議室で開催された四町村自治運營懇談会の經過、及び合併資料などを報告して

地方自治法、或いは町村合併促進法の精神から當町の實情を詳察の上、との問題は小名浜からの要望で三月一ぱいと云う期限もあり

との協議會で最終結論までは行かなくとも何らの基本方針を打ち出したい

と挨拶したのに對して上遠野議員は發言を求めて

議長の發言は地方事務所長あたりの發言であり、いやしくも町民の代表として、町の將來を考えた發言ではない

と鋭くつめよるなど壁頭から波乱を呼んで活發な論戰の應酬を展開

理事者、町當局者は小名浜町と不明朗な裏面工作を行つているのではないか

或いはとの問題は住民投票によつて決定すべきである

など議論百出して結局結論の出ないままに午後三時からの渡邊村との合併懇談会に持ち込まれる事になつた

会場の空氣から住民投票によるとする意見も相当に强く感じられ、住民投票にまで發展する可能性も强よくなつており、渡邊村としても小名浜合併の線に基本的に變りはないがこの懇談会でどんな結論になるかわからないと某要人がもらしており

その成行きは益々關心を强よく集めて來た

若月所長らも來泉臨席

なお午後一時からの合同懇談會に出席する爲に地方事務所からは若月所長小名浜町からは立花町長が夫々來泉していた

社告

二月二十日号は旧正十六日につき甚だ勝手ながら休刊させていただきます

磐城日日新聞社

冷害克服に

部落懇談會

石城地方事務所では冷害による農業協同組合り不振打開策として郡下各町村毎に次の日程で冷害克服農村振興推進懇談會を開き、十億出資の達成、冷害克服貯金運動、代表者供出制度の實施などを協議し、部落農事班の活動を一層活發化する事になつた

▽十八日泉▽十九日山田▽二十日渡辺▽二十二日植田▽二十三日錦、田人▽二十四日内郷、上遠野▽二十五日好間、入遠野▽二十七日平、玉川、豊間▽三月一日小名浜、江名▽二日鹿島

〝腐敗政治の眞相〟②

大村　哲也

氷山の一角をあらわして世の注目をあびている造船疑獄は、あれよあれよとおどろき慌てる國民の非難を横目に、擴大の一途をたどるのみである。試みに、昭和二十七年から二十八年にかけて大手筋の造船会社五〇が加盟している造船工業會からは、各黨につぎのような政治献金が贈られている。（各黨から東京都選擧管理委員会に申告された數字である）

自由黨＝二千万圓
日自黨＝二百万円
改進黨＝四百万円
右社黨＝百万圓
計二千七百万円

これは、資本家に天井なしの大もうけを、國民には底なしの貧乏を與える代償として政治献金されたのである。

②政治の腐敗とは何か

腐敗と云えば、ひとはすぐワイロをおもう、役人同志のワイロのやりとり彼らの公金の使い込み、これは腐敗のもつとも古くからあるふつうの形式である。

政府が選擧に當り干渉する、投票は買收する、これらは一層大きな腐敗政治であり、國民から重税をしぼりとり、その金で資本家や地主に儲けさしたり、資本家地主を保護する警察や軍隊を作り戰爭をやる、これこそ最も大きな根底の腐敗である、

これはあまりにも大きすぎ、あまりにも當り前なので、國民はこれを腐敗とは氣付かないのである

このような政治の腐敗は、政治が國民のための國民による政治でなくて資本家や地主のための政治の現われの一つの形式である、だから、フハイはひとにぎりの働かざる階級の支配する所、何時何處の國にも必ずある

然し從來のような方法では、余り手のうちが見え透きると、支配者――資本家、地主――はその手をかえる

右社黨のボス西尾末廣がいつも土建資本家大林組から金をもらつていたことは、彼れが社会主義者と名のり乍ら、不道德な金で代議士になり、第一に、自ら資本家の利益のために國民をギセイにする政治に參加し、例えば大東亜戰爭に賛成し、近くは本年度右社大會において再軍備をはかり、第二に此れら勤勞大衆が自分の味方に結びつくのをさまたげたのである

とりわけ、第二の点で西尾の犯罪を國民がとくに重視しなければならない理由がある

それと併せて、MSA受入態勢のために勞仂戰線において、全勞会議なるものを三月に結成しようとする常炭連、日礦連等の日の丸勞組の旗手たち――右社黨に連なる代議士――も西尾氏と同一戰列に並ぶものであることを指摘しておく

若松君安藤さんが優勝

湯本署の防犯辯論大會

湯本、磐崎連合防犯協会（会長白石初太郎氏）及び湯本地區警察署主催の第二回少年防犯辯論大会は十七日午後一時より湯本町公民館に於いて盛大に行われた

この日白石會長、松本副会長（湯本）、滝磐崎会長を初め湯本、磐崎の小中學校兒童生徒約一千余名が場内滿堂の雰圍氣の中に大熱辯を振つて午後五時盛会裡に閉会した

この日審査員は原湯本地區署長、根本敎育長、石井磐崎村社會主事、長谷川湯本公民館長等によつて愼重に行われた結果、次の諸君が各々入賞した

▽小学校の部
一位　若松　守人（長倉小六年）
二位　伊藤　博子（湯本一小六年）
三位　後藤　輝彦（長倉小六年）
四位　川越　光弘（湯本二小五年）
五位　齋藤　幸子（湯本一小五年）
六位　場々美代子（長倉小六年）
七位　長岡　眞美（湯本一小六年）
八位　越田和利充（磐崎小五年）

▽中學校の部
一位　明るい日本を築くために　安藤　仁子（湯本一中二年）
二位　工藤　朝博（磐崎中三年）
三位　高張　直勝（湯本二中一年）
四位　川向　末男（磐崎中二年）
五位　中島　芳子（湯本一中一年）

なお湯本一中二年生の安藤仁子、磐崎村長倉小六年生の若松守人の兩君に水野縣警察隊長賞が授與された

また湯本一小六年生の伊藤弘子さんと磐崎中三年生の工藤朝博君には各々矢吹湯本町長賞大田原磐崎村長賞を贈つて表彰した

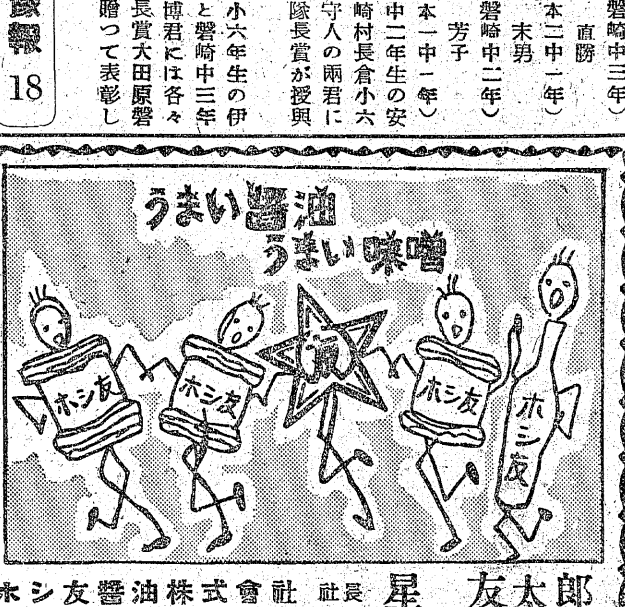
天氣豫報 18

「本日」北寄りの風、一時やや强く曇り、所により時々小雨か小雪、のち時々晴れ

「海上」時々風波がやや高かまりますから漁船は注意を要します

印刷
御用命ハ
電219

17日〜20日
同時上映
逆襲鞍馬天狗
キングコング
國境の狼
小名濱　キンヒ館



ホシ友醤油株式會社　社長　星友太郎

外務社員
男女年令不問
希望者ハ履歴書持參ノ事
本社業務部

經費をかけずに良い品安く
皆様のお店です
冬服地ネルカセン純毛特價
夜具地と裏地フトンの手入
カネボウ毛糸　1900円
松月足袋別珍特製160円
豆別珍55円大入100円
純毛コットン1500円より
セータカーデガントツクリ
裏毛メリヤスはオリエント
学生服セーラ服學帽カバン
化粧品柳屋メヌマ ジユジユ・ウテナ　}80円
ちどりフトン綿
舊年末年始の御贈答品
良い品嬉ばれる品私共は常に皆様の御相談相手として特機しています
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電二九七
チケット歡迎

疑獄旋風の實態は!!

基礎社会科學講座二十一日に開催

既報＝小名浜社民クラブ主催第三回基礎社会科學講座は十七日の役員会に於て次の日程に正式決定された

▽日時――二月二十一日午後一時より

▽場所――小名浜第一小學校講堂

▽講師――勞働者農民黨參議院議員木村禧八部氏

▽講演題目――「汚職問題と日本經濟」

保全旋風、造船疑獄と現政界は汚職、贈わいに戰々競々として國会内外を吹きまくり、更に有田自由黨副幹事長の家宅捜索と底なし沼の樣相を呈して來ている今日、政界有力人として革新陣營の重鎭木村參議員の來講は時宜を得た社会科講座として好評を博しており同氏專門の經濟學に關連せしめた汚職と日本經濟の動向は一般町民に強い關心を呼んでいる

社民クラブとしては会員外の一般社会人も是非と來講を希望している

平で劍道昇段試合

二十一日武德殿に開催

縣劍道連盟主催、石城劍道連盟（会長木山茂彥氏）共催の劍道段級審查會は來る二月二十一日、平市武德殿で午前九時半より開催される

審查員は縣側より三名、石城よりは平市の鈴木忠正範士（八段）他一名の範士が予定されているがこの審查会に先だち去る十四日平地區署で發会式を擧行した、石城劍道連盟（会員三百名）の膽入りで十八日～二十日迄の三日間午後一時～五時迄平近郷の段級審查受驗者の講習会を平市武德殿でひらく

尚、二十一日の受驗要項は次を通り

「イ」受驗料

A、一～三段―三百五十圓

B、四～五段―五百五十円

「ロ」受驗科目

A、實科及一般常識

B、實科及型、一般常識

小名浜町では十七日～二十日迄の午後六時から第一小學校講堂で地區署遠藤範士及囑託宮下六段を招いて受驗希望者の講習会を行っている

洋服の店
都服裝店
小名浜[illegible]

日曜畫家クラブ誕生

會長には丸浜の西丸氏

小名浜町に此の程チャーチル会の向を張つてと云う譯でもないがアマチュア画伯が集つて〝日曜画家クラブ〟を結成、大いに繪畫藝術の氣をあげる事になつた

小名浜日曜畫家クラブは丸浜運送の西丸信朗氏を中心に、中木村教官、昭和福島殖產の森壽氏、昭和堂文具店佐藤金吾氏など小名浜町内のアマチュア畫伯が繪筆に親しみ、名畫を鑑賞しあいお互いの親睦、畫の向上發展を期していこうと毎週日曜日集会を持つ事になつた

會長の西丸氏は次の樣に語つている

畫を書く事が出來なくても繪に親しみを感ずる人々は誰方でも是非入会していただきたい別に何も六難しい事なしに入會したい人に入会していただき、將來子供達にも入会していただいてお互いに繪に親しみ合つてゆきたいと考えてます

社会福祉事業講習会

石城社会福祉事務所では社会福祉事業の昻振を圖つて民生委員、兒童委員の講習会を來る二十四、五の両日に亘り開催する講師は縣民生課及び縣社会福祉協議會から巡遣される予定で

▽民生委員の在り方について

▽社会福祉協議會の設置について

▽兒童福祉活動についてなどの講演が行われる

△二十四日午前十時～午後三時まで平勞働会館參加者は郡内平、湯本小名浜など菊多方部を除く全地域

▽二十五日午前十時～午後三時まで植田小学校作法室、參加者は泉、渡邊以南の菊多方部全部

植田で親子ポンプ購入

十八日に披露式

植田町消防團（團長鷺文治氏）では先に親子式消防自動車を購入していたが、それの披露式を十八日午前九時より盛大に行つた

この日早朝より新車に坂本經田副團長等各団員が分乘各分団を巡回したのち植田町美登利にてその披露宴を催した

なお來る二十五日午前九時より消防車の操法講習会が植田小学校々庭に於いて行われる

一般外科
内科
性病科
肛門科
放射線科
（入院隨意）
草野医院
院長 草野道平
醫師 野門正
電話九九番

泉で郷土藝能発表會

泉町公民館ではとの程同町有志による「郷土藝能保存會」の要望により去る十三日午後一時より同館日本間に文化藝能保護懇談会を開き、同会の充実強化を圖る爲会則を設け、会長に泉保育所長吉田透氏を推し、本格的な研究を進める事になり、更に第二回会合を十八日午後三時から同館で開き郷土史、民謠、俗曲などを細部的に研究協議した

同町公民館及び同保存会共催の郷土藝能發表会は二十三日午前九時から泉町小学校講堂で盛大に開かれる予定で、歷史、由緒、故事來歷を多く傳えている泉町には〝磐城めでた〟など数多く民謠が殘されておりとれらの文化遺產保護に同会の活躍が期待されている

磐日を愛讀する者として

言論の自由は他人を傷つけず

小名濱町竹町 鈴木生

十六日附磐日紙論說中「日本水素御門衆へ」の一文を寄せられた森下ひろし記者に一言申す。

記事を讀み、私も日本水素に出入りする業者の一人として思い當る節もあるが、森下氏の記事は私憤を公表したのではないかと思われる節もあり、また私は森下氏の樣に思われないので一文を草する

君の云う〝何故に何の爲に〟とうるさい程の押し問答の末御入門とは、そとに何か外來者の方に不備な点、または不審な点が有るのではないだろうか。私も戰前彼等と似た樣な職種にありましたので良く解るのですが。

一般家庭または小会社大会社を問わず、不審なる者は内へ通さず「何用でまた何のために」と問う事は当然の事と思う。数の中ですから舊軍人特に憲兵、警察などを勤めた者もあり、それらの權力の座に居た人々に有り勝ちな橫柄な人もあります それは私自身も感じます 日本水素も商業なのですから親切にまた大いにサービスに勸むべきです。君の云う「物腰やわらかく和をもつて人に接すべし」と云う言に私自身大いに贊同の意を表するにやぶさかでない。だがその前に私や君自身また外來者自身の言動に反省すべ事が有るのではなかろうか。私は別に水素ファンでもなければまた日々ファンでもない。

紙上に載せる言葉、また日常の発言も、あくまで他人を傷つける爲のものであつてならない。君の云う「和をもつて」である。現代如何に言論の自由とは申せ町民の「あえて町民の代表と呼ぶ」先にたゝんとする報道機關が、一をもつて十を推量し、他人を傷つけるが如き報道をするとは「無責任な」とのそしりをまぬがれないであろう。磐城日日はその樣な事はないと思うが。だがあの記事は当を得ざるものであり愛讀者否町民の一人として磐城日日の記者たる君に反省を望む。守衛自身もまた反省すべき点も多い。もつと職業意識に目覺め、特權意識を持つべきでないと思う。

また如何に守衛とは申せ彼らもまた立派な勞働者である。

番犬とは愼しむべき言葉ではなかろうか。新舊時代を問わずヂヤーナリスト、また一般人と云えども口にすべき言葉ではない。それを發言公表した君の新聞記者たるセンスが疑わしい

充分なる私の意を表現出來得ざるを残念に思う。

また甚だ拙文ではあるが君の賢なる頭腦にて御批判を願うとともに「無冠の帝王」の名に恥じざる君の成長を祈る

天候は不順續く

＝小名浜測候所發長期予報＝

晩霜に注意、農作物を憂慮

小名浜測候所では沿岸地方の二・三・四月長期天氣予報を十八日次のように發表した

これによると三月には寒氣のきびしい時があり、四月に入つても寒暖の差が大きく不順天候となつて三十年來の凶作と嘆かれた二十八年度に續いて二十九年度の凶作も考えられ農作物が憂慮されている

―二月―

▽氣温……中旬後半から下旬初め頃にかけては稍強い低温があらわれる見込みで下旬半ばからは氣温は再び高くなる見込みです

▽降水量……平年並か多少少くな目でしょう

―三月―

▽氣温……上旬後半から中旬半ば頃にかけてと下旬半ば頃は低目で、その他は概ね平年並みの見込みです、なお月平均としては平年と余り大差はないでしょう

▽降水量……雨の降り易いのは上旬末、月半ば及び下旬半ばの頃の見込みで、月全体としては降水量は平年並か稍多目となります

―四月―

▽氣温……月平均では略平年並ですが寒暖の差がありますから晩霜に注意を要します

▽降水量……平年より稍多いと思われる

―小名浜に於ける氣温・降水量の平均値―

▼二月……氣温は上旬二、四 中旬二、八 下旬三、二 平均二、六 降水量八三、五ミリ

▼三月……氣温は上旬四、一 中旬四、八 下旬六、一 平均五、〇 降水量は一〇一、二ミリ

▼四月……氣温は上旬八、一 中旬一〇、一 上旬一一、九 平均一〇、〇 降水量は一三二、九ミリ

●小名浜に於ける終霜平均は四月十六日、晩霜は昭和十三年の五月十四日となつている

泉スポーツ協會で総会

泉町スポーツ協会（會長小林重三氏）では十八日午後六時から同町公民館に總会を開き、二十九年度の運営、その他について協議した

記者 若干名
見習記者 〃
業務社員 〃
年令不問 學歴御送附 面会日通知
磐城日日新聞社人事課

内科 小兒科
眼科 產婦人科
▽姙產婦預ります
小名浜郵便局前
三森醫院
電話七九八番
醫師 三森光三
助產婦 三森晴江

電話新設御知らせ
毎度御引立有難う存じます
此之度電話七八三番を新設致しましたから御利用下さい
東京堂菓子店
小名浜町西町

バンコクミシン
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます
チケット御利用下さい
大和田ミシン商會
小名浜町 西町
電話七九〇番

かぜとせきグスリ
素晴しい治療薬あり
ぜひ御相談下さい
胃散界の王座を行く
强ラブトサン 一週間分百円
マル丰藥房
小名浜町西町 電二一

小名浜町船引場四三（駅前）
產婦人科
内科小兒科
白鳥醫院
電話七三五番
醫師 白鳥隆二郎
醫師 白鳥悦